

2016/1/7 第 38 回目例会 <会長挨拶>

お正月の間、皆様いかがお過ごしでございましたでしょうか。LINE とかメールで拝見いたしますと、外国で過ごされた方もかなり多いようでございます。ハワイであるとか結構楽しんでいらっしやったようですが、私は家で半年分のロータリー関係の書類整理や部屋の掃除でほとんど寝正月の状態でした。この例会の中で皆様の正月、団欒のお話などをお聞かせいただければと楽しみにしております。

ロータリーはアメリカで生まれた団体ですが、よく調査しますと政治家の方も結構いらっしやるのですね。でもアメリカの大統領が大統領になってからRCに入会された方は全然いらっしやらない。やはり若い頃からロータリーに入会して何十年といろいろなお勉強をされてその結果、共和党の大統領はほとんどロータリーの会員だということです。民主党の大統領にもかなりいらっしやるようです。その点を考えますとロータリーというのは偉くなってから入会するのじゃないのですね。修行の段階に入ってからこそアメリカの大統領にまでなれるような立派な、人格と教養とパワーを得ることができるのだと、私は正月に改めて勉強させていただきました。

私もロータリーに入りましていろいろな先輩にお会いしました。東京西RCには、もう亡くなられましたが、藤山一郎先生という、初代日本歌手協会の会長がいらっしやいました。藤山先生は雲の上のお方で、そういう方ばかりがいらっしやいまして、私などは坊主扱いでした。「黒岩君、ちょっとこっちへおいで」、「はい、わかりました」などというような感じで、まるでまとわりつく猫のような感じてました。でもそれがとても楽しかったのです。面白くてわくわくして、そういうことを繰り返しながらもう 20 年近く経ってしまいました。

今日も何名かの新しいロータリー会員の方がお生まれになるわけですが、アメリカの大統領を何十人も育てたのもロータリーであるということをご認識し誇りに思っていたいただきたいと思います。

又ロータリーは教養を身に付け新しい友人を見出す場でもあります。昨年よりも一步高いところにそれぞれが上っていただいて、希望を持って頑張っていただきたいと思います。話が長くなりますとビールが温くなってまいりますので挨拶はこれくらいにして、今年一年、よろしくご指導ご鞭撻の程、お願いいたします。